

令和6年度 第3回宇美町総合戦略推進懇談会

次 第

令和6年11月7日（木）14：00～
宇美町役場 1階 第1会議室

- 1 開会
- 2 本部長あいさつ
- 3 議題
第3期宇美町総合戦略（案）について
- 4 その他
- 5 閉会

次回 懇談会開催日
令和6年 月 日（ ）
時～

令和6年度 第3回宇美町総合戦略推進懇談会
委員からの意見

令和6年11月7日（木曜日）
14時00分～16時00分
宇美町役場 1階
大会議室（左）

（出席者）

委員：世利哲昭、橋本愛子、清原幸治、石藏正二郎、黒川悟、山尾順二、川上利香

本部長：原田和幸

事務局：工藤課長、松田課長補佐、瀬川係長、猶塚主査

議題：第3期宇美町総合戦略（案）について

委員からの意見

〇ビジョン1「子どもを産み育てたいと思えるまちづくり」について

- ・郡内と比べたときに、あまり格差がないほうが良い。宇美は産後ケアの利用期間が近隣に比べ短かったりした。
- ・妊娠出産期ではいろんな人に相談できる場が増えると子育てしやすいと感じられると思う。
- ・シーメイトによく行きますという話を聞くが、町内でも十分走って遊べる公園はあるのでPRが不足しているのではないか。
- ・図書館は割と評判が良い。理想を言うと図書館近くに児童館があったりすると良い。

〇ビジョン2「住み続けたいと思える魅力あるまちづくり」について

- ・移住定住について、若い方が転入してくることが大事だが、家賃など経済的な面で宇美町に住みたいけど住めないという人もいる。空き家対策を推進してバックアップできる体制があると良い。
- ・30年程度経過した大型団地のリフォームや改装の需要が出てきている。世代交代が起きていて今後も増えてくるのではと感じている。
- ・災害時の対策で、自宅に井戸があることの表示があったらどうか。
- ・8月の夜に桜原小コミュニティで避難訓練を実施したがアンケートでは暑かったという意見が多かった。避難所のエアコン設置も進めてほしい。
- ・どうやって転入者を増やしていくかといったときに、他町と同じことをやるのではなくて、他町と競争できる特色ある施策が必要だと思う。
- ・企業誘致を掲げたいと思うが土地がない。用地があれば事業拡張や第2工場を作りたいという企業からの相談は多い。

○ビジョン3「すべての世代が活躍できる持続可能なまちづくり」について

- 共同のまちづくりについて、現在小学校区ごとのコミュニティ単位で活動しているが、外からも人が呼べるような大きなお祭りとかを町全体で取り組めたらどうか。
- 生涯学習カラーが出たら良い、どの世代でも新しい学びにチャレンジできるような。いきいきサロンは受け身になってしまうので、自分が得意なことをほかの人に教える場のようなものがあれば良い。最近外国の方が増えてきているので町内で外国の方と交流できる場があると良い。

○その他

- 人口減少の中で2060年に3万人の人口維持を目標ということで希望のある数値かなと思う。
- アンケートについて、子育て施策に満足している人は何に満足しているのか、町の強みを伸ばすという点ではその具体的な部分をアンケートで回収できたら良い。どちらともいえないは何と比べてなのか、例えば他の市町村ではこんなことをやっているとか、そこまでわかるようなアンケートの仕組みになると良い。
- 外国人が増えてきていると感じる。企業からも人材不足の話をよくので、課題解決に外国人の活用があると思うが、外国人をうまく受け入れるプラス材料があるといいのではないかな。